No7 広島牛にゅーす

Ｎｏ７　平成 24 年１月１日発行

広島県東部畜産事務所担当から広島牛に関連する話題を提供させていただきます。
皆様の広島牛経営の参考になれば幸いです。（対象エリア：三原，尾道，福山，府中，世羅，神石高原）

迎春

本年が皆様にとって幸多き年となりますように。今年も御愛読よろしくお願いします。

油木高等学校産業ビジネス科２年生の皆さんと宮本先生：彼らは広島牛の後継者候補の大切な宝です

◆新年を迎えて◆　～東部畜産事務所長あいさつ～

畜産事務所所長（下中央）と職員一同

「広島牛にゅーす」を御愛読いただいている皆様方におかれましては，まだまだ寒さ厳しい中ではありますが，すがすがしい気持ちで新年をお迎えのことと思います。

本年 10 月には，５年に一度の和牛のオリンピックと呼ばれる「第 10 回全国和牛能力共進会」（全共）が「和牛維新！地域で伸ばそう生産力 築こう豊かな食文化」をテーマに**長崎県のハウステンボス**などで開催されます。東部畜産事務所管内においても，神石高原町をはじめ，関係される方々の取り組みが既に始まっており，活気を帯びている状況です。全共には，**皆様方と共に広島県勝利に向けて尽力してまいります。**

また，このような活動などを通じて，**次世代に継承できる経営力の高い広島牛生産基盤を強化**し，おいしい**広島牛のブランド化による市場競争力の強化**に取り組んでいけるよう，広島県においては，平成 22 年 12 月に本県農業の基本指針として「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」を策定し，プランの推進を図っているところです。

本年の皆様方の御多幸を祈念するとともに，当所業務推進について御理解と御協力を賜りますよう，お願い致します。

東部畜産事務所　所長　桐子 幹康

◆県共枝肉の部が開催されました◆　～世羅町渡部牧場優秀賞３席～

会場の様子

平成 23 年 12 月 6 日に広島市中央卸売市場食肉市場において，第 87 回広島県畜産共進会「冬季枝肉の部」が開催されました。当日は，参考出品を含め 33 頭の出品があり，昨今の枝肉相場や消費が低迷する厳しい状況であるものの，会場は多くの参加者で熱気に満ちて賑わいました。

厳粛なる審査の結果，**最優秀賞には三次市の大槍さんが一昨年冬から 3 回連続のチャンピオン**に輝きました。東部管内からは，神石高原町高岡牧場，三原市（株）久井牧場，世羅町今田牧場と渡部牧場の 4 頭が出品されました。その中で，**渡部牧場が BMS１０で優秀賞３席というすばらしい成績を獲得しました。**

◆最優秀の成績と管内の褒賞の一覧

褒賞	性	血統（父-母の父）	出荷者	所在	成績	BMS
最優秀賞	雌	第２平茂勝-美津福	大槍牧場	三次市	A-5	11
優秀賞３席	去	糸松波-美津照	渡部牧場	世羅町	A-5	10
優良賞	去	勝忠平-北国７の８	久井牧場	三原市	A-4	6

★血統から見た肉質★

33 頭の出品牛のうち代表的な血統の肉質を比較すると，父，母方祖父ともに大型で，3 等級でも枝肉重量で価格を維持することが可能な血統が多く見受けられます。

その中で，3 頭以上の出品のあった血統でいえば，『勝忠平』の平均 BMS が 8.0（3 頭平均），『百合茂』の平均枝重 565kg（去勢 5 頭平均）となっており，それぞれ特徴を持ち，肥育経営にとって魅力的であるといえます。

【全頭平均　BMS 6.6　枝重 492kg　単価 1766 円/kg】
【去勢平均　BMS 6.5　枝重 535kg　単価 1724 円/kg】

広島県東部畜産事務所振興グループ

印刷規格　A3 両面

◆神石の和牛改良の今とこれから③◆　～神石高原町和牛改良組合豊松支部の視察研修のようす～

平成 23 年 12 月 18 日に**神石高原町和牛改良組合豊松支部（支部長井上彰さん）**は，会員の親睦と和牛生産の研鑽のため，兵庫県淡路島にある**淡路家畜市場の視察研修**を実施しました。井上支部長運転のバスで支部会員など 12 名が参加し，「神戸ビーフ」「神戸牛」などで有名な牛肉の素牛として，**兵庫県内における但馬牛生産頭数の約 7 割を占める淡路和牛の子牛市場**を訪問しました。**血統は全て但馬**で，ほとんどが**「田尻」を始祖とする牛**で近交係数が高そうなのが一目瞭然です。

移動中のバスの中で**岡崎副支部長は**，参加者に**「みんなで但馬のルーツを研究し，豊松を元気にしよう。**また，来年（H24 年）の**全共へ豊松から出場しよう！」**とあいさつされ，道中は，参加者の活発な和牛談議が交わされていました。

これまで，共進会出品などで**豊松支部の皆さんの“絆”の強さを見てきましたが，この視察でさらに“結束力”を高められた様子で，全共出場に向け豊松が熱くなっています。**

淡路では，体高測定も行っています。体重とあわせて貴重な情報となっています。

軽トラを利用した出荷

★淡路家畜市場の概要★
- 開設者：淡路畜産農業協同組合連合会
- 取引頭数：和子牛約 6000 頭/年，スモール他約 3000 頭/年
- 子牛市場：毎月 18 日，年間 12 回開催。（土日開催あり）
  約 500～600 頭/回上場（9：30～）

★淡路島の和牛概要★
- 繁殖戸数：1220 戸・飼育頭数：8550 頭・平均規模：7 頭/戸

【淡路市況（H23 年 11 月）】

総平均	419 千円（409 千円）
平均日令	277 日（274 日）
平均体重	252kg（286kg）
平均体高	114cm

（　）内は三次市場値

◆神石高原和牛の今とこれから④◆　～『（農）神石高原和牛の里』を支える若者～

（農）神石高原和牛の里に従事し，将来の神石高原和牛を支える，**大迫哲也**さん（26 才）を取材しました。

大迫さんが従事する（農）神石高原和牛の里（代表理事大迫義則さん，神石高原町油木，以下「法人」）は，平成 20 年 3 月に設立，現在，繁殖牛約 60 頭を飼養し，子牛生産，飼料作物生産受託や繁殖牛管理受託などを行う農業法人です。法人のある場所は，広島県が種雄牛の造成基地（広島牛改良センター）として活用していましたが，平成 19 年度にその機能を庄原の本場に統合し，その跡地の有効活用策として誕生しました。現在は，**当該法人と全農ひろしま油木繁殖実験牧場の 2 経営体の利用で，約 200 頭の繁殖牛が飼養される神石高原の和牛基地**となっています。

法人に従事する大迫さんは，油木高等学校産業ビジネス科を卒業後，和牛以外の仕事に従事しつつ，父の牧場経営の手伝いをしていたところ，法人の設立にあわせ，繁殖牛の管理者として従事し 3 年が経過しています。**法人へ従事したことをきっかけに，家畜人工授精師免許を取得し，自ら種付けを実施するなど，先を見据えての訓練に余念がありません。**大迫さんに法人設立後の変化についてうかがうと，**「法人の牛舎建設により，繁殖農家の規模拡大に貢献でき，繁殖牛の均一管理で親子ともに良好な状態を維持できるようになった。」**と答え，将来については，**「この法人の規模を拡大して，町内の繁殖経営の発展に寄与していきたい」**と明るい展望を確認することができました。

大迫さんは，**190cm 近い大きな身長からは想像しにくい，笑顔の絶えない優しい青年で，パワーと繊細さを兼ね備え**，将来に向けて**神石高原の和牛界には不可欠**であり，**貴重な人材**であると取材を通じて感じました。

家畜市場で自分の牛を追う大迫さん（左）

法人の牛舎内風景（群飼でスタンチョン管理）

◆全共への道◆　～全共のとりくみ～

平成 23 年 12 月 5 日に神石高原町において，全共「種牛の部 7 区（総合評価群：『安芸重福』産子）」の巡回が行われました。庄原市とあわせて既に候補牛が 11 頭となっており，数少ない候補牛の保留推進を進めています。当日は，同時に「沖茂金波」産子の発育調査が行われ，3 区（若雌）候補として保留推進が行われました。

12 月 16 日には，神石高原町において，全共「種牛の部 4 区（系統雌牛群）・5 区（繁殖雌牛群）」の巡回が行われました。両区合わせて 12 頭の候補牛のうち 6 頭が選定され，平成 24 年 3 月頃に三次で開催される予定の選抜会への出品牛がほぼ決定したことになります。

集落法人　広島牛にゅーす　検索

広島県東部畜産事務所振興グループ
〒720-8511 福山市三吉町 1-1-1　TEL084-921-1311（内線 3904）